

実験の概要

英検 2 級のリスニングテスト

- A) 男女 2 人の 4 会話の後に, 4 択問題
- B) 短いパッセージ音声の後に, 4 択問題

音の変形パターン

- A-1: オリジナル
- A-2: 巨人+少女
- A-3: 男も女も無線化
- A-4: 巨人・無線 + 少女・無線

- B-1: 男オリジナル
- B-2: 女オリジナル
- B-3: 巨人
- B-4: 少女
- B-5: 男無線
- B-6: 女無線
- B-7: 巨人無線
- B-8: 少女無線

1 セッション当たりの問題数

- A x 16 = A-1, A-2, A-3, A-4 を 4 つずつ, 合計 16 個
- B x 16 = B-1, ..., B-8 を 2 つずつ, 合計 16 個

英検 2 級は 30 個の問題で, 聞きながら回答を選ぶ。25 分
今回は, 32 個の問題で, 聞いた後問題を見て, 回答を選ぶ。約 40 分?

音声は, 4 セッション分問題を用意した。T-1, T-2, T-3, T-4 (各 T-i は上記の 32 個の問題で構成。異なる T-i 間で問題の重なりはない)。音声提示後に示す問題+4 択スライドは T-1, T-2 のみ準備できている。

- 7/7 成城の 2 クラスに, 各々, T-1, T-2
青山の 2 クラスに, 各々, T-1, T-2
- 7/14 成城の 2 クラスに, 各々, T-3, T-4
青山の 2 クラスに, 各々, T-3, T-4

実験計画の問題点:

同一問題を, アニメ声化, 無線化, アニメ声+無線化, して (4 種類), それを (学習者は異なる)

るが) 聞かせるタイプの実験にはなっていない。ある一つの問題(音声)は、オリジナル or アニメ化 or 無線化 or アニメ声+無線化、のいずれかの変形をさせている。学習者全体に同じ音声をスピーカ提示する以上、このような形態の実験とせざるを得ない。言い換えれば、問題毎の難易度は無視していることになる。

(当初は、被験者毎に聞かせる音声を変えて、一つの問題を、全通りの変形を行わせて聞かせるようなことを考えていた)